

平成 28 年 10 月 13 日

## 研究公開用文書

|  |
|--|
| <b>研究名：</b><br>臨床データ・患者サンプル等を用いたバイオ医薬品の薬理作用評価法・予測法の開発に係る研究   |
| <b>研究の概要：</b><br>承認後のバイオ医薬品投与前後の臨床・患者データ、タンパク質の変動を総合的に評価すれば、有効性・安全性に対する個人差の原因や、作用機序、薬効、副作用の評価・予測指標の発見につながる可能性があります。網羅的な薬理作用解析研究は困難であり少ないため、本研究ではそのような研究を実現する方法論として、機械学習を用いたアプローチを提示し、悪性腫瘍治療用抗体医薬品の薬理作用予測・評価につなげることを目的としています。 |
| <b>研究対象：</b> 平成 18 年度以降、横浜市立大学附属病院で大腸がん、乳がん、肺がん、腎がん、膵臓がんの方の手術組織等の残余検体および健常者血清を用いて解析を行います。  |
| <b>研究責任者：</b><br>所属：横浜市立大学 プロテオーム科学 教授 氏名：川崎 ナナ  |
| <b>研究実施期間：</b><br>平成 28 年 4 月 許可日 ～ 平成 33 年 3 月 31 日   |
| <b>連絡先：</b><br>横浜市立大学<br>所属：生命医科学研究科プロテオーム科学 特任助教 氏名：太田悠葵<br>〒：230-0045<br>住所：横浜市鶴見区末広町 1 丁目 7-2 9<br>電話：045-508-7439  |